



医療安全管理者・病院管理者向け研修  
院内事故調査の手法を学ぶ

【プログラム】

- 13:00 受付開始  
14:00 開会  
講義①「なぜ医療法改正か（事故調査の目的）」講師：佐和 貞治  
14:40 講義②「事故後の初期対応について」講師：松村 由美  
15:20 休憩  
15:30 講義③「M&M カンファレンス※の意義と進め方」講師：小泉 俊三  
16:00 講義④「報告書作成について」講師：松村 由美  
16:20 講義⑤「医療事故調査等支援団体の目的」講師：松村 由美  
16:30 閉会

※M&M (mortality & morbidity) カンファレンス：死亡した症例や合併症が発生した症例を詳細に検討するカンファレンス。次の症例にその経験を生かすことが目的である。

【研修目的】 院内事故調査の目的を理解し、調査委員会を自施設で開催できるような体制を整える。

【研修目標】

- ・報告対象となる死亡事例とは何か、具体的に説明できる。
- ・医療事故（死亡事故）発生時の初期対応について、具体的に説明できる。
- ・事故調査委員会の目的や進め方を説明できる。

【講師】

- ・小泉 俊三（一般社団法人医療安全全国共同行動 専務理事、一般財団法人東光会七条診療所 所長、佐賀大学名誉教授）
- ・佐和 貞治（京都府立医科大学 麻酔科教授・手術部長・医療安全管理部長）
- ・松村 由美（京都大学 医療安全管理部病院教授・医療安全管理室長）

【資料】資料の無断配布はご遠慮ください。

1. プログラム
2. スライドのハンドアウト（講義①～⑤）
3. 【参考】院内事故調査の指針（案）京都大学の指針